

## 2021 国際教養科 NEWS 12月

### 異文化理解特別授業 (9/17)

今年度第1回目の高大連携授業が、国際教養科1年生を対象として行われました。信州大学教育学部の小池浩子先生と徳井厚子先生、そして学生の皆さんにオンラインで「異文化理解」の授業を実施して頂きました。内容は「バルーンバ人ゲーム」と呼ばれるもので、5人～6人ずつのグループに分かれ、その中から1名バルーンバ人として選出されます。彼らは別室で、学生からバルーンバ人になるための教えを受けます。その他のメンバーは、様々な質問を投げかけて彼らがどのような文化を持っているのかを探ります。

バルーンバ人が移動して数回実施しましたが、なかなかコミュニケーションがうまく取れず、苦戦をしているグループが多く見受けられました。文化の違いに対する捉え方や反応によって、摩擦が起きるということを実感することができたと思います。日常生活の中の問題や、国際的に起こっている問題にも通ずる内容であり、貴重な経験となりました。



### 善光寺ガイド研修 (10/28)

10月28日(木)に、国際教養科1年生を対象として善光寺ガイド研修を実施しました。講師として平沢均美さん、中島信子さん(長野市在住 全国通訳案内士)をお招きし、善光寺の英語ガイドの現地研修を行いました。天候にも恵まれ、生徒たちは、実際に自分たちでガイドをする時のことをイメージしながら熱心に取り組んでいました。感想からは、毎日のように目にする善光寺について新たな発見があったこと、また自分たちの文化に対する捉え方が変わったこと等が窺えます。

#### 生徒の感想より

・こんなにも身近な善光寺について、こんなにも自分の理解が浅かったということに少し落胆するとともに、善光寺は誇れる場所だなと思った。

- ・国際教養科の生徒として、海外だけでなく自分たちの文化や生活を知り、それについて考え、大切にすることが大切だと思った。
- ・毎朝何気なく通っていた善光寺に、こんなにたくさんの貴重なお地蔵さんがあったり、色々な所に背景となる言い伝えがあったりして、面白いと思った。
- ・私たちの質問に丁寧に応答して下さい、知らなかった多くのことを学べてとてもいい時間になりました。



## パヴァーンさん来校 (11/1)

11月から、本校でラオスからの留学生を受け入れることとなりました。名前は Chanthavixay Aksonesavanh さん(チャントウィサイ アッソンサワンさん)で、学校ではパヴァーンさんと呼んでいます。滞在中は2年6組と一緒に生活をしています。日本が大好きで、日本文化や日常生活に非常に興味があるそうです。また、ラオスの文化も紹介しながら生徒やホストファミリーと良い関係を築き、日本とラオスの架け橋になりたいということです。3月までと短い期間ではありますが、日本での学校生活を楽しんで、素晴らしい経験にしてほしいと思います。



校長先生、ホストファミリーの宮澤さんと一緒に



2年6組での自己紹介